

目次

口絵	
序	
凡例	
総合解説	1
第一章 領主の支配と村・地域	15
第一節 領主の支配をうける村・地域	16
領主支配・財政を支える／年貢・役を納める／把握される村の状況	
第二節 村内の動き	61
村を治める／相給と組	
第三節 地域間のつながり	85
つながる地域／村人の移動／地域間の利害と争論	
第二章 土地の利用・開発と多発する災害	119
第一節 土地と水	120

目次

土地を持つ・利用する／土地を拓く／用水の確保と排水問題	
第二節 防災と災害	158
防災対策／災害の諸相／災害からの復旧	
第三章 城下町	197
第一節 岡崎	198
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第二節 西尾	234
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第三節 刈谷	245
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第四節 挙母	257
町並と町に暮らす人々／土地所持と年貢・諸役／町の政治	
第四章 産業	277
第一節 村の生業	278
農作物と塩づくり／川と海の営み／山の営み	
第二節 特産品の生産	298
木綿／味噌・酒・味噌／瓦／雲母	

+

目次

第三節	職人と諸稼ぎ	335
	大工・木挽・材木流し／鍛冶・鋳物師／石工／水車稼ぎ	
第五章	交通・流通・金融	369
第一節	陸上交通	370
	街道と宿駅／近世の旅	
第二節	水上交通	394
	江戸廻船／伊勢湾をめぐる船／川船／湊と河岸	
第三節	商人の活動	420
	在方商人／流通をとりまく環境	
第四節	地域金融	439
	金融講／質屋の経営／豪農による金融	
第六章	寺院と神社	467
第一節	寺社の維持と運営	468
	松平・徳川家ゆかりの寺社の活動／寺社の運営と民衆	
第二節	寺社組織と民衆	507
	本末制度・触頭制と寺檀関係／寺社をめぐる諸争論・組織と地域	

+

次 第七章 家と暮らし 555

目 第一節 家 556

家格と由緒／家の永続

第二節 ライフサイクル 576

出産と子供／成人／老いと死

第三節 暮らし 613

住まい／暮らしの記録／村の一年

第八章 文化 639

第一節 地域に根ざす文化 640

花火／万歳

第二節 書籍と教養 667

教育と書籍／文芸／諸芸と娯楽

第三節 病気と医療 707

第四節 祭り／信仰 718

祭り／信仰

第五節 地域の記録 730

+

第九章 社会 743

第一節 さまざまな身分の人々 744

身分間に生きる／差別を受けた人々の諸相／徘徊する人々

第二節 社会不安とその対応 767

第三節 飢饉 788

天明の飢饉／天保の飢饉

第四節 民衆のたたかい 800

加茂一揆／さまざまなたたかい

第五節 幕末期の諸情勢 831

政治情勢への対応／幕末期の世相／ええじゃないか

第十章 在郷町足助 855

第一節 日記にみる足助 856

第二節 足助の町と周辺村々 904

足助の町のしくみ／周辺村々との関係

第三節 足助の町と地域経済圏 939

馬塚ぎの諸相―足助塩と荷之口争論―／足助の商人たち／飯田街道と巴川

目次

+

+

目次
解説……………971

資料群解説……………1075

あとがき……………1105

執筆分担……………1108

資料提供者及び協力者……………1109

愛知県史編さん関係者名簿……………1112

掲載史料編年一覧……………1119

+

+

+

+

細目次

第一章 領主の支配と村・地域

第一節 領主の支配をうける村・地域

一 領主支配・財政を支える

1 宮口陣屋旗本内藤氏知行所入用金調達につき加茂郡宮口村助
生村収納米任せ証文〈寛政六年十一月〉……………16

2 西尾藩勝手向要用のため京都知恩院より西尾郡中惣代・用達
借用金証文〈天保三年閏十一月〉……………17

3 岡崎藩主大新講企てにつき諸事断り願書〈弘化四年七月〉……………17

4 足助陣屋旗本本多氏知行所三河表暮切払い凡積帳
……………18

5 岡崎藩勝手元締ほか借用金証文写 〈嘉永四年八月〉……………21

6 尾花陣屋旗本岡部氏知行所支配につき在地役人宛書状写
……………22

二 年貢・役を納める

7 六栗陣屋旗本小笠原氏知行所年貢収納方法につき覚書
……………27

8 幡豆郡瀬戸村海鼠腸継場仰せつけにつき願書 〈正徳二年〉……………28

9 加茂郡梶村大島陣屋旗本石川氏の年貢賄を江戸商人へ依頼証文
……………29

10 碧海郡西鷺鴨村年貢・村入用割につき三給村民請書
……………30

11 保母陣屋旗本松平氏知行所三か村年貢取箇取究め書付写
……………31

12 加茂郡山蔵村吉田藩・大島陣屋旗本石川氏への上納諸掛り日記
……………35

13 加茂郡・額田郡三十六か村へ東海道舞坂宿助郷仰せ付けにつ
き触書 〈慶応元年六月〉……………43

14 額田郡明見村・亀穴村・石原村五藩平均をもつて年貢石代納願書
……………45

三 把握される村の状況

15 碧海郡棚尾村明細帳 〈享和元年六月〉……………46

16 幡豆郡下横須賀村明細帳書替えにつき願書 〈天保十二年四月〉……………54

17 加茂郡大草村徳川家康由緒につき申上げ書 〈天保十三年正月〉……………57

18 幡豆郡岡山村助郷役免除につき村高ならびに家数人別書上帳
……………58

第二節 村内の動き

一 村を治める

19 額田郡宮石村帳簿など相渡し証文 〈享保六年四月〉……………61

20 加茂郡太田村庄屋役替わりにつき郷法をもつて諸帳面引渡し
覚書 〈宝暦十年十月〉……………62

21 額田郡鶴巣村婿取嫁取の際の無礼につき請書 〈寛政八年二月〉……………63

22 幡豆郡岡山村盗難の際入札で家捜しするにつき村中合せ書
……………63

23 幡豆郡西浅井村百姓代万付渡記覚書 〈享和三年正月〉……………64

24 加茂郡久木村地主遠方につき村役人の世話にて小作入付証文
……………65

細目次

77	加茂郡四郷村惣中地田畑永代渡し証文〈嘉永三年二月〉……………	125	92	碧海郡篠目村など三か村作野池込寸法につき取り替わし証文 〈明和七年六月〉……………	143
78	加茂郡小渡村惣山を割り渡すにつき規定書〈慶応二年二月〉……………	126	93	碧海郡篠目村など三か村作野池泥浚道具取決めにつき取り替 わし証文〈文久二年三月〉……………	143
79	碧海郡八ツ田村民家相続につき永代売り地請戻しに関する 覚書〈明治三年三月〉……………	127	94	額田郡長嶺村溜池御普請入用帳〈天明七年三月〉……………	145
	二 土地を拓く		95	幡豆郡岡島村菱池新田見立による出水の恐れにつき口上書 〈延宝四年三月〉……………	148
80	碧海郡犬ヶ坪村開発につき申上げ書〈元禄八年七月〉……………	127	96	碧海郡伏見屋新田新堀割につき同郡大浜村訴状 〈元禄十一年四月〉……………	148
81	幡豆郡尾崎新田を岡山村へ地付との仰せ渡しのところ一村取 立てにつき願書〈宝永四年四月〉……………	128	97	碧海郡大浜村新堀割水門につき同郡八か村と取り替わし証文 〈明和三年五月〉……………	151
82	幡豆郡岡山村尾崎新田一村取立てにつき請書〈正徳四年四月〉……………	129	98	額田郡鷺田村など十三か村より菱池水吐広田川通堤新規築き 立て差止め願書〈天保十一年九月〉……………	153
83	加茂郡足助村小出権左衛門新田帳〈文政九年正月〉……………	130	99	碧海郡伏見屋外新田これまで使用の水車による営業願書 〈嘉永六年五月〉……………	155
84	幡豆郡実禄新田再開発につき免許証文〈文政九年九月〉……………	133	100	碧海郡伏見屋新田悪水吐き不良につき堤線出し差止め制限願書 〈安政二年十月〉……………	156
85	幡豆郡西小柵外新田森右衛門請地地主代願添書の取扱い不調 法につき願書〈天保九年十月〉……………	135			
86	幡豆郡東実禄新田年貢免状〈天保十二年十一月〉……………	136			
87	幡豆郡平坂村石川三郎兵衛西小柵新田を質物に借入金証文 〈弘化元年十二月〉……………	137			
88	碧海郡伏見屋外新田鷲塚村請地につき取り替わし証文 〈元治元年十一月〉……………	139			
89	幡豆郡平坂村服部伴蔵新田米売払いなどにつき加茂郡足助村 小出支配中宛書状〈七月〉……………	140			
90	幡豆郡吉田村颯田甚平新田納米につき加茂郡足助村小出権三 郎宛書状〈十二月〉……………	141			
91	三 用水の確保と排水問題 碧海郡作野池水引につき同郡八ツ田村庄屋宛引溝証文 〈享保九年五月〉……………	142	101	額田郡萱園村・高力村砂川西堤修復方につき取り替わし証文 〈延享元年八月〉……………	158
			102	矢作川水行取締りにつき一札雛形〈天保十一年六月〉……………	159
			103	碧海郡根崎村・東端村の用水込樋伏込場所変更要請につき願書 〈安政三年九月〉……………	160
			104	幡豆郡西小柵新田込樋吹抜けによる堤築き立てにつき同郡中	

細目次

150	泡原土地改良につき城下土地持百姓よりの検見引平均願書	237
149	二 土地所持と年貢・諸役	
148	山下新屋敷の開発に関し尋ねにつき口上書〈文政八年三月〉	237
147	奥屋敷借家人家賃滞りにつき一札〈安政五年正月〉	236
146	奥屋敷の家屋敷売渡し証文〈安政元年十月〉	235
145	須田町の役地屋敷売渡し証文〈文化から文政年間〉	234
144	一 町並と町に暮らす人々	
143	三 町の政治	
142	須田町年寄日用記〈抄〉〈寛政十年二月〉	226
141	二 第一節 西尾	
140	田町町人塩座二十五か年季請負願書控〈文化三年十月〉	218
139	伝馬町町人魚直買につき処分願書〈文政十二年四月〉	221
138	川船荷物町々へ付送りにつき取決め書ほか	223
137	三 町の政治	
136	二 第一節 西尾	
135	一 町並と町に暮らす人々	
134	二 土地所持と年貢・諸役	
133	投町免割控〈寛保元年十二月〉	210
132	投町年貢買入手形米納入書〈享保十二年十二月〉	210
131	伝馬役馬議定書〈天保九年十二月〉	210
130	田町・板屋町・下肴町難渋のため助役につき覚書	212
129	二 土地所持と年貢・諸役	
128	三 町の政治	
127	投町困窮につき口上書〈文政六年九月〉	214
126	年貢町八か町難渋のため助役につき口上書〈安政三年三月〉	214
125	拳母中町町人塩船に関し田町へ掛合いにつき留書	215
124	二 第一節 西尾	
123	一 町並と町に暮らす人々	
122	三 町の政治	
121	田町町人塩座二十五か年季請負願書控〈文化三年十月〉	218
120	伝馬町町人魚直買につき処分願書〈文政十二年四月〉	221
119	川船荷物町々へ付送りにつき取決め書ほか	223
118	三 町の政治	
117	二 第一節 西尾	
116	一 町並と町に暮らす人々	
115	二 土地所持と年貢・諸役	
114	泡原田地譲り渡し証文〈文政八年三月〉	238
113	三 町の政治	
112	庄屋役交替につき廻状〈四月〉	239
111	組頭役交替につき廻状〈七月〉	239
110	山下新屋敷組頭退役願書〈巳二月〉	240
109	屋敷地支配につき横町・肴町出入留書	240
108	二 第一節 西尾	
107	一 町並と町に暮らす人々	
106	三 町の政治	
105	刈谷町人数家数書上〈慶応元年三月〉	245
104	元足軽寺横町住人になりたきにつき引請一札	247
103	二 土地所持と年貢・諸役	
102	刈谷町年貢免状〈享保元年九月〉	247
101	刈谷町年貢免状〈嘉永元年十一月〉	249
100	新居宿朝鮮人国役掛につき礼物割合申上げ書および書状	253
99	三 町の政治	
98	浦触送り状	254
97	二 第一節 西尾	
96	一 町並と町に暮らす人々	
95	東町人別改帳〈享保六年七月〉	257
94	城下町役人心得〈天保九年〉	258

細目次

164	東町願書下書帳(抄)〈嘉永元年から安政五年〉……………	263
	二 土地所持と年貢・諸役	
165	東町年貢免状〈寛文五年十一月〉……………	267
166	東町年貢勘定目録〈天和三年十一月〉……………	268
167	東町年貢皆済目録〈慶応二年八月〉……………	269
	三 町の政治	
168	惣町入用月番勘定仕立帳(抄)〈嘉永二年十二月〉……………	270
169	武家奉公人の調べにつき月番庄屋より村々宛廻状〈申十二月〉……………	274
170	設楽郡内六か村藁代上納につき月番庄屋宛覚書〈西正月〉……………	275
第四章 産業		
第一節 村の生業		
一 農作物と塩づくり		
171	額田郡石原村田畑作物種肥書上帳〈元文元年十月〉……………	278
172	碧海郡棚尾村塩浜田畑成届書〈明治四年十月〉……………	282
173	幡豆郡酒井村民塩浜売渡し証文〈延宝三年十二月〉……………	283
174	幡豆郡鳥羽村民塩浜築き立てにつき一札〈文化元年五月〉……………	284
175	幡豆郡桑畑村塩浜名寄帳〈明治五年九月〉……………	285
176	幡豆郡富好外新田地主代塩問屋出来のため迷惑につき願書 〈四月〉……………	286
二 川と海の営み		
177	加茂郡川端村・安美京村川殺生につき一札〈宝暦四年二月〉……………	288
178	加茂郡足助村・沢ノ堂村村民鮎漁場所出入につき訴状 〈文化六年九月〉……………	288
179	鰯漁につき尾張藩からの申渡し書〈安政五年五月〉……………	290
180	海風漁につき触書〈明治二年九月〉……………	290
181	三河浜手肥物差し送りにつき願書〈巳〉……………	291
	三 山の営み	
182	加茂郡立岩村釜場借用証文〈寛政三年十一月〉……………	292
183	加茂郡御内蔵連村炭出しのため道つけにつき同郡大見村宛証文 〈寛政八年二月〉……………	292
184	加茂郡羽布村炭木山年季証文〈安政元年二月〉……………	293
185	加茂郡小町村漆代金請取証文〈天保七年十二月〉……………	294
186	漆山代金差し詰まりにつき加茂郡西樫尾村民宛借用金証文 〈安政二年十一月〉……………	294
187	加茂郡御内蔵連村紫蔽・漆売出高の申上げ書〈安政四年五月〉……………	295
188	加茂郡明川村民ほか木地挽難渡につき願書 〈寛政十二年六月〉……………	295
189	木楮の覚書〈文政二年十一月〉……………	296
第二節 特産品の生業		
一 木綿		
190	碧海郡花園村寺田家木綿売買帳(抄)〈天明八年〉……………	298
191	幡豆郡平坂村外山善兵衛木綿代金滞りにつき一札 〈文政九年二月〉……………	298
192	岡崎藩綿打旅職人規制につき触書〈嘉永三年十二月〉……………	303
193	西尾藩木綿問屋直買ほか取り替わし一札〈安政三年六月〉……………	304
194	新綿番船江戸入津ほかの申上げ書写〈安政六年十月〉……………	305
195	岡崎組認商人書上〈文久三年三月〉……………	306
196	碧海郡鷲塚村民綿実船積み時期悪しきにつき額田郡東阿知 和村民宛書状〈午十月〉……………	307

細目次

197	二 味噌・酒・味噌	308
198	額田郡八町村早川家味噌仕込ばか書上〈文政十二年〉	308
199	加茂郡足助村味噌屋仲間規定書写〈嘉永五年正月〉	311
200	岡崎投町酒売高の覚書控〈享保十一年十月〉	312
201	額田郡深溝村酒造米高ならびに株高ほか申上げ書	313
202	江戸表酒値下がりにつき定書〈文化七年五月〉	316
203	加茂郡大沼村酒造人加茂一揆の際打ちこわしにあい御札につき始末書〈天保八年正月〉	316
204	碧海郡棚尾村村民酒造株譲渡につき願書〈安政元年六月〉	319
205	碧海郡大浜村石川家の味噌入用覚書〈寛政十一年〉	320
206	碧海郡棚尾村永坂家の江戸積瓦仕切状〈抄〉	321
207	碧海郡棚尾村瓦屋永坂李兵衛への瓦注文書〈戊五月〉	323
208	四雲母	326
209	幅豆郡下新居村村民雲母荷物を京都へ売捌きにつき願書	328
210	額田郡土呂村村民雲母荷物の買次捌き方につき一札	331
211	額田郡土呂村村民雲母荷物の売捌きにつき取り替わし一札	331
212	坂崎陣屋旗本大久保氏知行所産物雲母取締規定書	333
213	第三節 職人と諸稼ぎ	
214	一 大工・木挽・材木流し	
215	加茂郡西楳尾村材木流しにつき訴状〈安政二年三月〉	335
216	材木取扱いにつき定書〈戊正月〉	337
217	西尾藩大工動員につき廻状〈四月〉	339
218	幅豆郡中畑村村民江戸表出立につき書状〈四月〉	340
219	碧海郡大浜村付木作業台増台許可につき請書	340
220	幅豆郡小焼野村村民木挽職鑑札免許につき願書〈安政五年四月〉	342
221	二 鍛冶・鋳物師	340
222	額田郡本宿村村民鉄稼ぎにつき願書〈天保四年五月〉	343
223	加茂郡須田村・足助村村民飛騨鍛冶鍛細工差し止めにつき願書	344
224	尾張知多郡大野村農鍛冶の後家跡式相続につき一札	343
225	岡崎鋳物師近江辻村より出職につき真継家安堵状	345
226	岡崎鋳物師屋敷地所持一件につき口上書〈安永八年〉	346
227	西尾辻利八鉄物類値下げにつき書上控〈抄〉	346
228	幅豆郡平坂村鋳物師と西尾鍋屋中との鍋釜小売り値段につき取決め書〈安政三年〉	350
229	幅豆郡平坂村鋳物師と西尾辻利八との取引再開につき取決め書	351
230	三 石工	351
231	額田郡小呂村石取場見分につき口上書〈西六月〉	352
232	岡崎石工の石塔見積書〈天保十二年八月〉	352

細目次

229	幡豆郡瀬戸村常夜灯建立諸事記〈弘化三年三月〉……………	353
230	四 水車稼ぎ	
230	碧海郡矢作村油売商人綿実挽方油絞りにつき覚書	
	〈文化五年四月〉……………	358
231	額田郡東阿知和村民水車屋休みは不都合につき口上書	
	〈文政五年六月〉……………	358
232	加茂郡四郷村・梅ヶ坪村水車の争論始末留記〈嘉永三年八月〉……………	360
233	水車稼ぎ心得の覚書〈酉三月〉……………	367
第五章 交通・流通・金融		
第一節 陸上交通		
一 街道と宿駅		
234	知立宿問屋役儀につき申上げ書……………	370
235	知立宿より刈谷湊へ送る荷物につき書状〈享和元年正月〉……………	372
236	旅人を引き込み知立神社御札広めに関する記録〈安政四年二月〉……………	373
237	岡崎伝馬町旅籠屋拝借米ほかにつき願書〈天明六年閏十月〉……………	374
238	岡崎宿人馬継所難渋につき口上書……………	375
239	藤川宿助郷村々人馬書上帳〈文政三年九月〉……………	377
240	矢作橋架け替え請負人につき碧海郡鷺塚村實物書上	
	〈寛文十一年正月〉……………	381
241	矢作橋架け替え木遣唄……………	383
242	碧海郡鷺塚村・上町村の渡船争論につき訴状〈弘化二年六月〉……………	384
243	加茂郡今村渡船作事につき書上〈慶応二年二月〉……………	387
二 近世の旅		
244	碧海郡花園村寺田家の江戸・日光・善光寺道中記(抄)	
245	碧海郡小垣江村伊勢参宮船の出船願書および着船届書	
	〈嘉永三年九月〉……………	389
	〈文化八年四月〉……………	393
第二節 水上交通		
一 江戸廻船		
246	幡豆郡佐久島村惣十郎船竹送り状〈寛文九年三月〉……………	394
247	碧海郡大浜村石川家の支配船一件帳(抄)〈安永四年〉……………	394
248	酒積みにつき廻船仲間連印帳〈天保十二年正月〉……………	398
249	刈谷太田平右衛門ほか船新造につき分持ち加入覚書	
	〈文政九年十一月〉……………	400
250	伊勢白子廻船幡豆郡佐久島村久三郎船積み手板〈嘉永四年六月〉……………	401
二 伊勢湾をめぐる船		
251	幡豆郡宮崎村三浦伊兵衛への船積み覚帳(抄)	
	〈文化九年正月〉……………	403
252	幡豆郡宮崎村船頭のいさば船浦手形〈安政二年正月〉……………	406
253	平坂湊へ冥加金を納めるいさば船ほか四艘書上〈戊戌六月〉……………	407
三 川 船		
254	加茂郡岩倉村船造作につき借地証文〈文化八年九月〉……………	408
255	東川船通行につき取決め書〈慶応三年五月〉……………	409
256	幡豆郡中畑村川船麦送り状〈午五月および六月〉……………	411
257	川船乗りの詫び書〈天保七年九月〉……………	411
四 湊と河岸		
258	幡豆郡平坂湊の悪水出入訴答一件書(抄)〈文化八年五月〉……………	412
259	幡豆郡平坂湊蔵敷控書〈万延元年正月〉……………	415
260	碧海郡泉田村土場替地につき口上書〈文政三年正月〉……………	418

十

十

十

細目次

261	境川瀬違いにつき土場借地の取り替わし証文〈天保四年五月〉……	418
第三節 商人の活動		
一 在方商人		
262	幡豆郡上町村商職人売物調べ帳〈安政三年十一月〉……	420
263	穀商い不取締りにつき一札〈安政元年正月〉……	421
264	幡豆郡下町村德利酒・一文菓子小売り御答赦の願書 〈天保九年九月〉……	423
二 流通をとりまく環境		
265	西尾藩為替手形下し方覚帳〈弘化二年正月〉……	423
266	岡崎米問屋相場につき書上……	429
267	大島陣屋旗本石川氏蔵米など落札につき書上 〈天保二年十一月から弘化元年十一月〉……	430
268	三河幕領の酒造株・秤改めなどにつき願書……	433
269	三河秤改めにつき秤座守随家より通達届書〈未六月〉……	435
270	西尾横町善次郎枅請売り取次所の開設につき願書 〈文政十一年九月〉……	436
271	額田郡八町村早川久右衛門浪花講加入につき入用金受取書 〈安政四年閏五月〉……	438
第四節 地域金融		
一 金融講		
272	西尾藩返金講仕法帳〈嘉永四年十月〉……	439
273	碧海郡上野行福寺本堂再建立融通講仕法帳〈安政六年正月〉……	442
274	岡崎十王町町人商い向取り持ちにつき取退講仕法帳……	444
275	二 質屋の経営 幡豆郡花蔵寺村尾崎八郎右衛門万預かり銭取替え帳 〈貞享四年正月〉……	448
276	幡豆郡花蔵寺村尾崎八郎右衛門質物取替え帳 〈享保十三年正月〉……	453
三 豪農による金融		
277	幡豆郡萩原村糟谷縫右衛門貸借金・有金書上帳〈明和四年〉……	456
278	幡豆郡饗場村村民時借証文〈安永五年十一月〉……	462
279	幡豆郡萩原村糟谷縫右衛門時貸寛帳〈安永九年正月より〉……	462
280	加茂郡足助村油屋権右衛門時借願いの書状〈天保五年三月〉……	464
281	加茂郡足助村小出権三郎時貸融通困難につき書状〈亥三月〉……	464
第六章 寺院と神社		
第一節 寺社の維持と運営		
一 松平・徳川家ゆかりの寺社の活動		
282	浄土宗大樹寺松平広忠百回忌法要の尋ねにつき返答書 〈丑二月〉……	468
283	浄土宗大樹寺松平広忠三百回忌法要の問合せに記された延享・元禄期法要の書上〈弘化四年二月〉……	469
284	徳川家康二百五十回忌の際の恩赦につき猿投神社年行事宛請書 〈慶応元年八月〉……	471
285	浄土宗随念寺葵紋につき記録〈抄〉〈寛政七年十二月〉……	471
286	浄土宗隣松寺松平忠吉の菩提供養料寄付につき尾張藩江戸屋敷宛願書〈天保三年八月〉……	474
287	時宗称名寺松平有親四百回忌法要の富くじ興行につき尾張藩	

十

十

十

細目次

288	家老成瀬家宛願書〈天保六年九月〉……………	475	302	遊行上人の時宗称名寺滞在の間の見世物興行などにつき許 可願書〈嘉永六年三月〉……………	506
289	時宗称名寺徳川家先祖の廟所・霊屋修復助成につき願書 〈天保七年二月〉……………	476	第二節 寺社組織と民衆		
290	時宗称名寺松平有親四百回忌法要のため沼津藩大浜役所借用 残金につき願書〈弘化三年十二月〉……………	479	一 本末制・触頭制と寺檀關係		
291	伊賀八幡宮の三河国内における御免勸化の記録 〈弘化三年六月から十月〉……………	481	303	浄土真宗三河三か寺と五か寺の確執に関する記録 〈元禄十年十一月〉……………	507
292	浄土宗隣松寺由緒あるにつき細川家への寄付・見分願書 〈嘉永四年四月〉……………	485	304	浄土宗西山深草派本京都円福寺の修復勸進金につき三河檀 中・講中定書〈寛延三年三月〉……………	508
293	浄土宗隨念寺祠堂金返済滞り一件の記録(抄) 〈文政四年七月から文政六年十一月〉……………	486	305	浄土真宗本山東本願寺天明大火にて焼失のため再建につき三 河国取持ち人書上……………	509
294	赤坂役所利下げ指示に対する浄土宗大樹寺祠堂金由来の口上書 〈午十一月〉……………	488	306	浄土真宗赤羽御坊再建についての記録〈文政元年四月〉……………	510
二 寺社の運営と民衆			307	浄土真宗本山東本願寺再建における三河門徒の記録 〈文政八年九月から十月〉……………	514
295	時宗称名寺の渡宋天満宮尊影の由来記〈天保八年四月〉……………	490	308	浄土真宗暮戸会所争論につき申上げ書〈天保期〉……………	514
296	時宗誓願寺十王堂の浄瑠璃姫菩提所略縁起(浄瑠璃姫伝承) 〈安政二年〉……………	492	309	東西本願寺門跡の関東下向の際の三河逗留に関する記録(抄) 〈天保四年二月〉……………	516
297	岩津天満宮略縁起および勸化帳〈文久二年〉……………	495	310	他国僧請待の取締り願いについての記録〈天保十一年〉……………	519
298	寺部八幡宮修復助成のため短冊奉納書〈寛文七年五月〉……………	497	311	浄土真宗三河三か寺と未寺との争論一件 〈安政四年八月から慶応二年五月〉……………	520
299	浄土宗大樹寺徳住上人庵室の建立寄付帳〈文政十年十月〉……………	497	二 寺社をめぐる諸争論・組織と地域		
300	知立神社賽銭を諸堂造営料としたきにつき願書 〈元治元年十月〉……………	498	312	岡崎宗門騒動における改宗者帰宗願いにつき本山家臣宛書状 〈寛文十年二月〉……………	535
301	浄土宗浄珠院内三河准秩父札所観音の由来および開帳の記録(抄) 〈文政四年三月〉……………	500	313	宗名争論強訴一件吟味中に住持出奔のため後継願いにつき本 山宛門徒惣代請書〈安永七年閏七月〉……………	537
	浄土宗大樹寺安政大火にて焼失のため再建記録 〈安政三年および四年〉……………	504	314	日蓮宗一致派・勝劣派争論につき本山裁断書……………	537

十

十

十

細目次

315	猿投神社別当僧侶と社家中条・青山家との争論につき内済書 〈天保十年十一月〉……	539
316	知立神社別当・両社家勤め方先例書〈安政五年四月〉……	540
317	知立神社別当僧侶・社家永見家の争論についての記録 一 万延元年五月……	541 547
318	修験宗役銭取集めなどにつき覚書〈宝永二年五月〉……	551 547
319	駿河・遠江・三河における修験名跡者に関わる役銭上納につ き廻状〈元文元年四月〉……	552
320	修験宗宝隆院による加茂郡越戸村内神社の祭神書上 〈天保四年七月〉……	553
第七章 家と暮らし		
第一節 家		
一 家格と由緒		
321	加茂郡松名村村民百姓取立てに際し苗字・定紋・役負担につ き一札〈寛文八年二月〉……	556
322	加茂郡松名村村民別家に際し苗字・定紋につき譲り一札 〈文化十二年二月〉……	556
323	加茂郡大草村鈴木党別家相統証文〈文政三年三月〉……	557 556
324	家督相続後の苗字帯刀のあつかいにつき願書〈文政五年四月〉……	559
325	幡豆郡一色村杉浦家の由緒書〈弘化二年正月〉……	560
二 家の永続		
326	加茂郡足助村民法要・仏壇の取扱いについて難題をかけら れるにつき帰檀願書〈安永三年四月〉……	565
327	加茂郡足助村民祖母養子の者を勘当につき御用違御免の願書 〈天保十三年七月〉……	574 568
328	額田郡大草村民本家相統につき願書〈安政二年三月〉……	574 568
第二節 ライフサイクル		
一 出産と子供		
329	碧海郡花園村寺田家男子誕生の際の記録(抄) 〈文化十年九月〉……	576
330	安産祈願のため誕生仏掛軸の借用を願う書状〈四月〉……	580 576
331	加茂郡足助村民娘の手習いの進み具合についての書状 〈七月〉……	582 581
332	離縁後の子供の引き取り方につき書状〈十一月〉……	582 581
二 成人		
333	加茂郡福田村酒井玄晴の元服後の記録 〈宝暦三年から寛政十年〉……	583
334	加茂郡足助村小出家娘縁組の際の記録〈文政六年九月〉……	590 583
335	離縁後の女性よりの一札〈文政十年正月〉……	600 600
336	結婚相手の身上調べ書〈五月〉……	600 600
三 老いと死		
337	幡豆郡荻原村糟谷平蔵妻死去の際の記録(抄) 〈享和三年八月〉……	601
338	幡豆郡一色村杉浦家家相統・経営などにつき遺言書 〈文化十三年八月〉……	611 604
339	学母東町念仏講の取決め帳〈天保三年正月〉……	611 604

十

十

十

細目次

349	二 万 歳	江戸・関東における偽三河万歳師をめぐる訴訟の裁許状 〈貞享三年三月〉……	647
348	一 花 火	加茂郡岩倉村平藪字野家が催した花火大会の目録 〈天保十一年〉……	642
347		荻野流・良光流の花火門人帳(抄)〈文化八年から嘉永元年〉……	640
346	第八章 文化	幡豆郡巨海村の年中行事日記(抄)……	627
345	三 村の一年	加茂郡足助村小出家の名古屋における買物覚書(抄) 〈天保十二年三月〉……	624
344		加茂郡足助村小出家の名古屋における買物覚書(抄) 〈天保七年〉……	620
343		碧海郡泉田村鈴木家妻の歳暮・年玉の記録(文化十二年)……	617
342	二 暮らしの記録	加茂郡足助村村民の住空間(文政から天保期)……	616
341		加茂郡越戸村村民居宅などを買物とする借用金証文 〈弘化元年十月〉……	613
340	一 住まい	加茂郡足助村田町における屋根の葺き方につき約定書 〈文政七年閏八月〉……	613
350		万歳師の身分や廻勤方法につき申渡し書(宝暦三年十月)……	648
351		三河万歳の由緒書……	651
352		三河万歳師が巡回する下総国東部の檀家控帳(抄) 〈元治元年〉……	653
353	第二節 書籍と教養	男女異見帳身上改訓(天明五年五月)……	667
354	一 教育と書籍	岡崎順拜……	670
355		碧海郡記……	671
356		名古屋本屋による写本作成につき覚書および書状 〈天保四年七月および八月〉……	673
357		名古屋本屋の古本売却につき申請書(天保六年閏七月)……	673
358		注文の日本図の調達につき書状(弘化四年五月)……	674
359		書籍購入に際し岡崎本屋からの代金受取書(嘉永元年七月)……	675
360		加茂郡足助村田町若者組狂言(台本を借用につき願書(七月)……	676
361		書籍借用に際し熱田貸本屋からの見料受取書(十月)……	676
362		碧海郡花園村寺田家の蔵書目録……	676
363	二 文 芸	「三河国衣乃里艶桜和歌集 初編」人名録(安政元年八月)……	679
364		探花紀行(慶応元年三月)……	686
365		和歌集出版に際し掲載をすすめる師匠からの書状(七月)……	696
366		春の句を集めた俳諧一枚刷……	697
367		聴鐘亭追善の雑俳集句引札……	701
368		句評と最近の俳風に対する批判を伝える書状……	703

細目次

369	三 諸芸と娯楽	加茂郡足助村本町剣術稽古場の借用証文〈文政十二年三月〉……………703
370		弓術につき免許元よりの取決め書〈嘉永二年〉……………704
371		剣術道場設立の趣意と出資者連名帳〈元治元年十月〉……………705
	第三節 病氣と医療	
372		加茂郡福田村の眼科医酒井家の薬販売先書上帳 〈文化元年正月〉……………712
373		金寿丸の効能・由来書と販売所書上〈文化十一年九月〉……………717
374		碧海郡高浜村民売薬商売にともなう薬・得意先の譲り受け証文〈天保九年二月〉……………716
375		碧海郡本郷村で開業の女性鍼医の評判を伝える書状〈八月〉……………715
376		碧海郡半城土村病難送りの願書〈申九月〉……………717
	第四節 祭りと信仰	
	一 祭り	
377		碧海郡桜井村桜井神社祭礼の記録〈文政十二年から天保二年〉……………718
378		加茂郡足助村祭礼における人形浄瑠璃の準備についての記録 〈天保十一年から十四年〉……………720
379		芝居に用いる衣裳についての記録〈抄〉〈嘉永二年八月〉……………723
	二 信仰	
380		岡崎周辺の御嶽祭についての記録〈明和四年〉……………725
381		秋葉山へ常夜灯寄進につき三河・尾張・美濃三か国の講についての記録〈抄〉〈文化九年九月〉……………725
382		岡崎周辺のおかげまいりについての記録〈天保元年〉……………727
383		知立神社へ雨乞い祈願と御札についての記録〈嘉永六年六月〉……………728
	第五節 地域の記録	
384		天保期の挙母城下のくらしについての記録 〈天保六年から八年および十年〉……………737
385		三州矢立筆記〈抄〉〈天保十年十二月〉……………730
	第九章 社会	
	第一節 さまざまな身分の人々	
	一 身分間に生きる	
386		碧海郡大浜村内の帯刀人尋ねにつき申上げ書〈延享三年八月〉……………744
387		加茂郡九久平村ほかへ家筋についての申付け書〈寛政六年〉……………744
388		碧海郡泉田村居住の郷士居屋敷のあつかいにつき願書下書 〈嘉永二年六月〉……………746
389		村方下役の百姓取立て願書……………747
	二 差別を受けた人々の諸相	
390		碧海郡尾崎村番人中絶のため悲田院支配断りにつき一札 〈文化十四年六月〉……………747
391		万歳職を勤める家の縁組に関して番非人と争論につき訴状 〈寛政十年八月〉……………748
392		碧海郡尾崎山頭手下の居住地につき申上げ書〈嘉永五年四月〉……………750
393		郡中村々より山屋敷職借財助成の返金方法につき証文 〈安政四年十一月〉……………751
394		悪党捕縛のため山非人頭へ帯刀許可につき請書 〈安政四年十二月〉……………752
395		雪路商についての書状〈四月〉……………753

十

十

十

細目次

	三 徘徊する人々	
396	幡豆郡八ツ面村にて虚無僧行倒れにつき事後処理の記録 〈寛政元年六月〉……………754	
397	碧海郡榎前村を訪れる人々への村の支出の記録（抄） 〈文化六年正月〉……………758	
398	碧海郡大浜茶屋村に止宿する浪人からの仕切料受取書 〈天保五年十一月〉……………762	
399	虚無僧を偽称する浪人の手配につき普大寺よりの廻状 〈天保七年九月〉……………763	
400	尾州名古屋配当役所への盲人廻村の取締り願書および約定書 〈安政五年十一月〉……………764	
401	座頭・ごぜに対する施し金・施し米の記録〈明治四年三月〉……………765	764
	第二節 社会不安とその対応	
402	深溝陣屋旗本板倉氏知行所村々へ百姓相統のための申渡し書 〈明暦元年三月〉……………767	
403	足助連続放火事件の経緯とその処罰についての記録（抄） 〈享保十一年四月から八月〉……………770	
404	稲などの見張りをする番人の勤め方につき連印書 〈安永三年七月〉……………779	
405	碧海郡棚尾村氏神八王子社の神主・下禰宜などについての一件 〈寛政七・文化十・元治元年〉……………779	
406	額田郡大門村村民の親孝行についての報告書〈弘化四年二月〉……………784	784
407	碧海郡築地村若者組の取決め書〈嘉永三年三月〉……………786	786
	第三節 飢饉	
	一 天明の飢饉	
408	深溝陣屋役人八田家の記録〈天明四年および七年〉……………788	
409	額田郡石原村など四か村凶作につき藤川宿加助郷免除の願書 〈天明四年二月〉……………789	789
410	加茂郡上伊熊村村民年貢減免願いを役所へ差し出すよう村役人宛参連判願書〈天明六年閏十月〉……………791	
	二 天保の飢饉	
411	加茂郡御内蔵連村宇井家の收穫記録〈天保三年から十年〉……………792	
412	東海道宿々および三河における飢饉の様子などを伝える書状 〈十二月〉……………796	796
413	幡豆郡瀬戸村飢饉後の村方立直しのため施肥・夜なべ仕事など申渡しにつき請書〈天保十年正月〉……………797	
414	天保飢饉の芝居見立番付……………799	797
	第四節 民衆のたたかい	
	一 加茂一揆	
415	加茂郡北山中下山辺の百姓動乱取鎮め一条〈天保七年九月〉……………817	800
416	一揆参加者への処罰申渡し書〈天保九年五月〉……………817	
	二 さまざまなたたかい	
417	幡豆郡岡山村岡山陣屋旗本津田氏地役人鳥居八郎左衛門の非違につき訴状〈享保十五年五月〉……………823	823
418	美濃国恵那郡野原村など十二か村明智陣屋旗本遠山氏代官沼田氏の再任反対願書〈天明七年十二月〉……………826	826
419	下永良陣屋旗本諏訪氏地役人白井氏の新規仕法取止めにつき	

細目次

	願書〈辰三月〉……………	828
	第五節 幕末期の諸情勢	
	一 政治情勢への対応	
420	大和天誅組の乱など社会情勢につき吉田藩・大島陣屋よりの 触書〈文久三年および元治元年〉……………	831
421	幡豆郡貝吹村福島藩貝吹陣屋からの軍事動員のための人別取 調べ書〈元治元年正月〉……………	836
422	第二次長州戦争に際し矢作川渡船の費用書上〈慶応元年〉……………	839
	二 幕末期の世相	
423	碧海郡花園村寺田家の日記〈抄〉〈安政元年正月〉……………	840
424	尾張国内のコレラ流行を伝える書状〈安政五年十月〉……………	845
425	外国貿易に関わる商人に対する天誅予告につき三河木綿問屋 への廻状〈文久三年十一月〉……………	846
	三 ええじゃないか	
426	碧海郡小垣江村に降ったお札の届書〈慶応三年九月から十月〉……………	848
427	お札降りの記録〈慶応三年〉……………	851
428	浄土真宗本證寺お札降りへの対応につき用番家老宛書状控 ……………	853
	〈慶応三年十月〉……………	
	第十章 在郷町足助	
	第一節 日記にみる足助	
429	足助庄屋役用日記写〈抄〉〈享和三年から文化七年〉……………	856
430	大庄屋日記〈抄〉〈天保七年から八年〉……………	862
	第二節 足助の町と周辺村々	
	一 足助の町のしくみ	
431	足助各町の軒役数および出役数につき差引き勘定書上 ……………	904
	……………	
432	足助四町が管理する荷之口銭金の収支改め勘定書上 ……………	907
	……………	
433	加茂郡足助村明細帳〈抄〉〈安永二年九月〉……………	906
	……………	
434	足助陣屋門前騒動取調べにつき町内人別書上控帳 ……………	909
	……………	
435	町代宛送り一札を庄屋宛に変更したきにつき願書下書 ……………	919
	……………	
436	足助内の宿屋仲間規定書〈抄〉〈万延元年正月〉……………	922
437	浪人騒動に際し鈴木・小出両家から難渡者への施し金書上〈抄〉 ……………	922
	……………	
	二 周辺村々との関係	
438	悪風俗を嘆き足助祭礼の簡素化などにつき提言書下書〈抄〉……………	922
439	加茂郡太田村祭礼に際し質物の馬道具を一時借り出したきに つき書状〈文化元年八月〉……………	923
440	足助八幡宮祭礼の際の棧敷掛場所ならびに木道具売渡し証文 ……………	924
	……………	
441	足助陣屋旗本本多氏知行所山方二十三か村惣百姓騒動一件に つき書留帳〈抄〉〈文化十一年十月〉……………	924
442	加茂一揆の際の足助被害状況につき申上げ書〈天保七年九月〉……………	928
443	足助四町より加茂一揆勢への供出品など覚書〈天保七年〉……………	930
444	赤坂宿での加茂一揆取調べの様子につき書状	

細目次

445	三河国天保一乱騒動記(抄)〈天保七年〉……………	931	461	足助陣屋旗本多氏用達衆に引き続き月並入用金引受けを指 示するにつき直書〈天保六年七月〉……………	959
	第三節 足助の町と地域経済圏			三 飯田街道と巴川	
	一 馬塚ぎの諸相―足助塩と荷之口争論―		462	名古屋商人よりの赤穂塩送り状〈西四月〉……………	960
446	岡崎塩屋より饗庭塩送付につき馬方名前などの覚書(抄)	939	463	細川分一番所図面……………	960
	〈天保九年四月〉……………		464	分一運上請負につき願書〈寛政元年十月〉……………	961
447	加茂郡岩倉村平古より塩受取につき勘定帳(抄)	940	465	加茂郡足助村など二十二か村新規分一番所取立て迷惑につき 願書下書〈天明八年十月〉……………	962
	〈嘉永五年二月〉……………		466	干水による川下げ荷物の延着につき口上書〈十一月〉……………	968
448	足助田町白木屋より岡崎への紙送り状〈巳七月〉……………	941	467	巴川開削願書写〈天保十二年六月〉……………	968
	間屋職永統のため問屋以外の荷継ぎと串柿売買の停止などに つき願書〈文政三年十一月〉……………	942	468	加茂郡足助村・岩神村・田振村新規通船につき幕府役人宛同意書 〈嘉永元年二月〉……………	969
449	足助問屋株年季売渡し証文〈天保五年五月〉……………	943			
450	荷之口銭請負額などにつき書上帳(抄)	944			
	〈寛政十二年から弘化四年〉……………				
451	荷之口銭請負手形〈宝暦元年二月〉……………	946			
452	加茂郡岩倉村平古問屋荷之口銭負担につき廻状〈十一月〉……………	947			
453	足助荷主中急ぎの出荷物を積下げるよう舟人へ掛合い依頼に つき書状〈三月〉……………	947			
454	加茂郡岩倉村平古問屋足助荷主の申し分につき廻状〈三月〉……………	948			
455	荷之口争論につき評定所対決後の返答書写〈弘化二年五月〉……………	949			
	二 足助の商人たち				
456	加茂郡足助村小出家貸付金勘定帳〈明和二年正月〉……………	953			
457	味噌仕込みにつき経費勘定帳(抄)……………	956			
458	御用達継続の条件提示についての理由書〈文政七年六月〉……………	957			
459	加茂郡上野山村大村権兵衛の借財方覚書……………	958			